

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用



栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 アグリワークス（福島県耶麻郡猪苗代町）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲49ha

従業員数：4名

<対象品目>

水稲、大豆

<計画の実施期間>

5年間

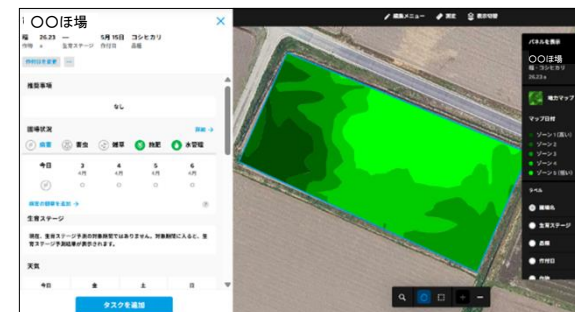
<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



アグリワークスの皆様



栽培管理システム
(ザルビオフィールドマネージャー)

～認定を受けて一言～

弊社は地域農業の課題である高齢化や担い手不足を解消しながら、持続可能で魅力ある農業の実現を目指します。

ICT、データ共有を取り入れることで、生産性の向上と省力化を図り、誰もが取り組みやすい農業へ進化させます。